経営比較分析表（令和4年度決算）

北海道砂川市　市立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	400床以上～500床未満	自治体職員
経営形態	**診療科数**	**DPC対象病院**	**特殊診療機能　※１**	**指定病院の状況　※２**
直営	28	対象	ド 透 Ｉ 未 訓 ガ	救 臨 が 感 へ 災 輪
人口（人）	**建物面積（㎡）**	**不採算地区病院**	**不採算地区中核病院**	**看護配置**
15,909	53,186	－	第２種該当	７ ： １

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
408	－	6
許可病床（精神）	**許可病床（感染症）**	**許可病床（合計）**
80	4	498
最大使用病床（一般）	**最大使用病床（療養）**	**最大使用病床（一般＋療養）**
389	－	389

※１　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ　未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療

※２　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

グラフ凡例

■　当該病院値（当該値）

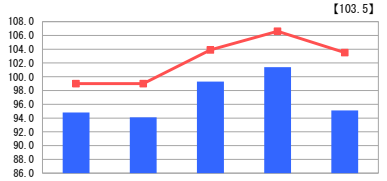
ー　類似病院平均値（平均値）

【】　令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

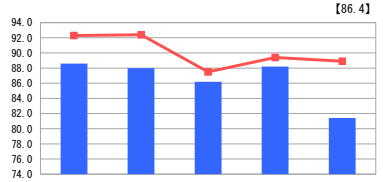
【103.5】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	94.8	94.1	99.3	101.4	95.1
平均値	99.0	99.0	103.9	106.6	103.5

②医業収支比率(%)

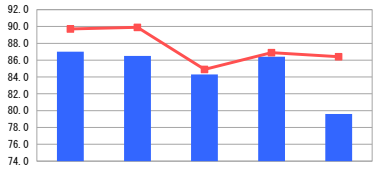
【86.4】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	88.6	88.0	86.2	88.2	81.4
平均値	92.3	92.4	87.5	89.4	88.9

③修正医業収支比率(%)

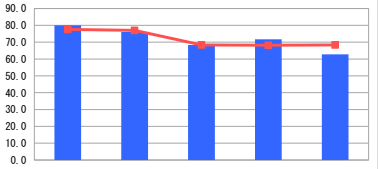
【83.7】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	87.0	86.5	84.3	86.4	79.6
平均値	89.7	89.9	84.9	86.9	86.4

④病床利用率(%)

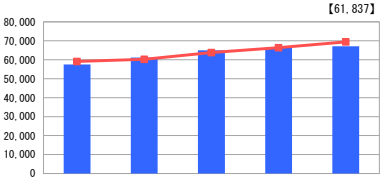
【66.8】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	80.0	76.1	68.4	71.7	62.8
平均値	77.6	77.0	68.4	68.2	68.4

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)

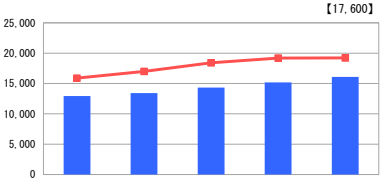
【61,837】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	57,551	61,116	64,960	66,410	67,089
平均値	59,108	60,271	63,766	66,386	69,418

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)

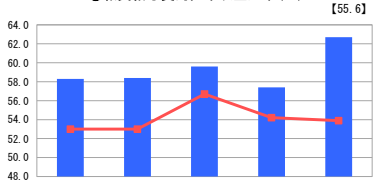
【17,600】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	12,927	13,417	14,332	15,187	16,073
平均値	15,887	16,979	18,423	19,190	19,216

⑦職員給与費対医業収益比率(%)

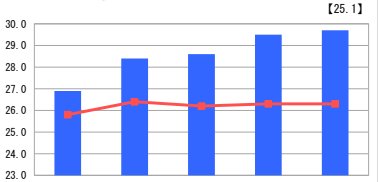
【55.6】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	58.3	58.4	59.6	57.4	62.7
平均値	53.0	53.0	56.7	54.2	53.9

⑧材料費対医業収益比率(%)

【25.1】

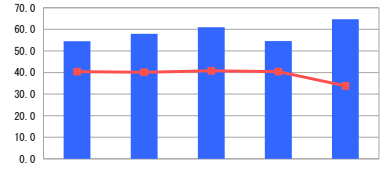


	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	26.9	28.4	28.6	29.5	29.7
平均値	25.8	26.4	26.2	26.3	26.3

2. 老朽化の状況

⑨累積欠損金比率(%)

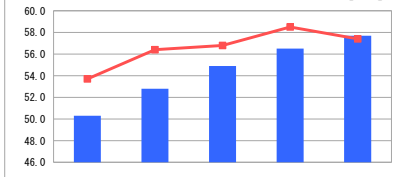
【63.0】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	54.5	57.9	61.0	54.6	64.7
平均値	40.4	40.1	40.8	40.4	33.8

①有形固定資産減価償却率(%)

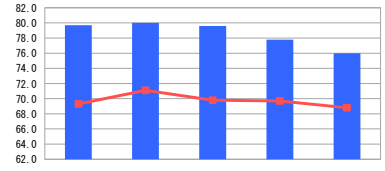
【56.4】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	50.3	52.8	54.9	56.5	57.7
平均値	53.7	56.4	56.8	58.5	57.4

②器械備品減価償却率(%)

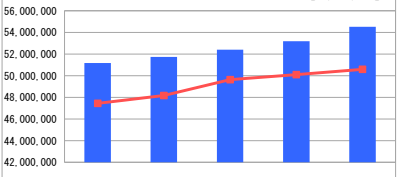
【70.7】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	79.7	80.0	79.6	77.8	76.0
平均値	69.3	71.1	69.8	69.7	68.8

③１床当たり有形固定資産(円)

【49,963,977】



	H30	R01	R02	R03	R04
当該値	51,168,526	51,729,743	52,401,791	53,178,896	54,515,665
平均値	47,442,477	48,164,556	49,637,382	50,098,024	50,586,262

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

機能分化・連携強化（従来の再編・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
－ 年度	－ 年度	－ 年度

Ⅰ 地域において担っている役割

当院は、慢性期以外の病床機能を有し、地域センター病院や地域救命救急センター、地域がん診療連携拠点病院の他、多数の指定を受け、365日断らない救急医療の実施や高度急性期から訪問看護、看取りなどの在宅・予防医療まで、幅広い医療を展開し中空知医療圏全体から患者を受け入れており、地域医療の充実を図っております。

また、大学病院との連携や、圏域内の医療機関、行政、介護事業所、薬局等と連携し、地域包括ケアシステムの構築を推進しております。

Ⅱ 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

・「経常収支比率」「医業収支比率」「病床利用率」「職員給与費・材料費対医業収益比率」等、診療収益に関連する指標については、。新型コロナウイルス感染症の第７波、第８波の影響を大きく受け、度重なる院内クラスターも発生、職員の感染や濃厚接触者の増加による予定入院や手術・検査の延期などの影響が顕著に現れ、過去に例を見ない入院収益の減少に見舞われました。

新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けの変更に伴い、この減収については、令和４年度単年の減少であると認識しています

2. 老朽化の状況について

当院は10年前に改築事業が完了しました。

①有形固定資産減価償却率が高い数値となっているのは、改築時に更新等行った医療機器が耐用年数に近付いている、または超過しているものですが、平均値を下回っているところです。③１床当たり有形固定資産においては高い数値となっていますが、当院の役割から、感染症対策や放射線機器をはじめとする高額な医療機器については、高度化する医療等に対応するため計画的な投資を行っているもので、今後においても計画的、効率的な投資に努めて参ります。

全体総括

令和４年度は、収益では新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、病院の経営にとって大きなダメージを受け、一方費用では世界経済の動向による資源価格の上昇や企業債元金償還金、多額の減価償却費などが計上されるなか、費用の増加を最小限に留めることができたところです。

キャッシュ・フローでは資金が減少し、引き続き厳しい経営状況ではありますが、医療圏における中核病院として安定的、継続的な医療を提供するべく、経営基盤の強化を図り、今後においても健全経営に努めて参ります。